

教科課程

看護学科

系列	開講科目 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	論理学 Logic	必修	講義	30	(1)	30						論理学の基礎を学び、自己の考えを論理的に他者に伝えることができる。
	看護と人間工学 Nursing and Ergonomics	"	"	15	(1)	15						臨床現場で現れる物理現象を理解し、看護実践に活用できる人間工学の基礎知識が身に付ける。
	情報科学と統計学 Information Science and Statistics	"	"	30	(1)	30						OA機器の基本操作と、情報社会に対応できる情報の収集と整理、活用方法が理解できる。
	哲学 Philosophy	"	"	30	(1)		30					様々な考え方や他者に対する意識を高め、哲学的なものの見方や考え方ができる。
	環境学 Environmental	"	"	15	(1)	15						自然環境、社会環境、都市環境など人間の生活を取り巻く環境とその人間や動植物への影響が理解できる。
	人間心理学 Human Psychology	"	"	30	(1)	30						人間のこころと行動の動きを多面的にとらえ、自己理解や他者理解を深められる。
	人間関係論 Human Relations	"	"	30	(1)		30					人間関係構築に必要な知識を身につけ、さまざまな人間関係や人間の行動や態度への理解ができる。
	教育学 Pedagogy	"	"	30	(1)		30					人間は生涯学び続ける存在であることを理解し、人間の可能性を引き出すための教育の意義、方法が理解できる。
	倫理学 Ethics	"	"	30	(1)	30						倫理的問題等について考え、人間性に根ざした倫理的判断力を身につけることができる。
	家族と社会学 Family and Sociology	"	"	30	(1)		30					社会的存在としての人間や人間生活の基盤としての家族と人々の関係が理解できる。
	コミュニケーション学 Communication	"	"	30	(1)	30						パーソナルコミュニケーションの理論と技術を用いたコミュニケーションができる。
	英語と英会話 English Conversation	"	"	30	(1)			30				文法、会話、リスニングなどの英語力を身につけ、医療英語が理解できる。
	健康とリラクゼーション Health and Relaxation	"	"	30	(1)		30					レクリエーションや運動の基本的知識・技術を学び、健康維持・増進していくための方法がわかる。
専門基礎分野	生体機能学Ⅰ Human Anatomy and Physiology I	"	"	30	(1)	30						正常な人体の形態と構造、その役割と機能がわかる。 (呼吸・循環・血液系)
	生体機能学Ⅱ Human Anatomy and Physiology II	"	"	30	(1)	30						正常な人体の形態と構造、その役割と機能がわかる。 (消化器・内分泌・女性の生殖系)

看護学科

系列	開講科目 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 基 礎 分 野	生体機能学Ⅲ Human Anatomy and Physiology III	必修	講義	30	(1)	30						正常な人体の形態と構造、その役割と機能がわかる。 (脳神経・感覚器)
	生体機能学Ⅳ Human Anatomy and Physiology IV	"	"	30	(1)	30						正常な人体の形態と構造、その役割と機能がわかる。 (骨系・筋肉・歯・腎泌尿器系・男性生殖器)
	栄養と代謝 Nutrition and Metabolism	"	"	30	(1)	30						人間の細胞レベルの物質代謝、人間の恒常性とその調節、栄養成分の体内での物質代謝がわかる。
	病態総論 Pathology	"	"	15	(1)		15					疾病の原因、生体反応を理解し、健康から疾病に至る変化のプロセスがわかる。
	病態と治療Ⅰ Pathology and Therapeutics I	"	"	30	(1)		30					逸脱した場合の形態的变化や機能障害から起こる影響とその治療がわかる。(呼吸器・循環器・血液)
	病態と治療Ⅱ Pathology and Therapeutics II	"	"	30	(1)		30					逸脱した場合の形態的变化や機能障害から起こる影響とその治療がわかる。(消化器・腎泌尿器・内分泌)
	病態と治療Ⅲ Pathology and Therapeutics III	"	"	30	(1)		30					逸脱した場合の形態的变化や機能障害から起こる影響とその治療がわかる。(脳神経・骨筋肉系)
	病態と治療Ⅳ Pathology and Therapeutics IV	"	"	30	(1)			30				逸脱した場合の形態的变化や機能障害から起こる影響とその治療がわかる。(感覚器・生殖器)
	病態と治療Ⅴ Pathology and Therapeutics V	"	"	30	(1)			30				逸脱した場合の形態的变化や機能障害から起こる影響とその治療がわかる。(精神・小児)
	感染症と微生物 Infection and Microbiology	"	"	30	(1)	30						微生物の性質と人体に及ぼす影響、感染の仕組みと微生物によって引き起こされる病態と対処方法がわかる。
	栄養と食事 Nutrition and Meal	"	"	30	(1)		30					健康維持のための食生活について理解し、機能障害を持つ対象の健康状態改善のための食生活について理解できる。
	臨床薬理学 Clinical Pharmacology	"	"	30	(1)		30					薬物の化学的性質と吸収過程、治療としての薬理作用や人体への作用(有害事象)がわかる。
	臨床検査総論 Laboratory Medicine	"	"	30	(1)			30				機能障害の原因や程度を査定するための臨床検査について理解できる。
	臨床治療論 Clinical Treatment	"	"	30	(1)			30				リハビリテーション、ME機器の知識、手術侵襲と生体反応、麻酔及び放射線による検査と治療などがわかる。
	公衆衛生学 Public Health	"	"	30	(1)			30				公衆衛生の概念、公衆衛生活動、健康に生きるための知識と保健医療システムがわかる。
保健医療論 Health Care	"	"	15	(1)				15			医療を取り巻く現代社会や日本の保健医療の概要について理解し、保健医療の中での看護の役割が理解できる。	

看護学科

系列	開講科目 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	社会保障制度論 Social Security System	必修	講義	15	(1)			15				社会保障の理念と制度の考え方を理解し、社会福祉の分野とサービスがわかる。	
	社会福祉論 Social Welfare	〃	〃	15	(1)			15				社会福祉の理念と制度の概要を理解し、サービスの活用方法と社会福祉の中での看護の役割が理解できる。	
	関係法規Ⅰ Relevant LawⅠ	〃	〃	15	(1)					15		看護に必要な法律の基礎知識・保健医療・法規を理解し、医療従事者としての業務と責任が理解できる。	
	関係法規Ⅱ Relevant LawⅡ	〃	〃	15	(1)				15			生活者の健康増進に対応した法律や人々の健康を守るための環境保全・衛生に関する法律がわかる。	
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論 Introduction to Nursing	〃	〃	30	(1)	30						看護の概念・目的・機能、発展の歴史を理解し、保健・医療・福祉の広い視野で看護の機能と役割が理解できる。
		看護研究 Nursing Study	〃	〃	30	(1)				15	15		看護における研究の意義および基礎知識を学び、研究ができる。
		基本技術論Ⅰ Basic Nursing SkillⅠ	〃	〃	30	(1)	30						基礎看護技術の基盤となるコミュニケーション、感染防止の技術ができる。
		基本技術論Ⅱ Basic Nursing SkillⅡ	〃	〃	30	(1)	30						生活環境を整える方法や活動・休息の援助技術ができる。
		基本技術論Ⅲ Basic Nursing SkillⅢ	〃	〃	30	(1)		30					看護の対象の健康状態を把握するためのヘルスアセスメントや安楽をもたらす援助技術ができる。
		生活援助論Ⅰ Basic Procedures in Nursing SkillsⅠ	〃	〃	30	(1)	30						対象が健康生活を送るために身体の清潔や衣生活の援助ができる。
		生活援助論Ⅱ Basic Procedures in Nursing SkillsⅡ	〃	〃	30	(1)		30					人間にとっての食事・栄養と排泄の意味を理解して、対象が健康生活を送るために必要な援助ができる。
		診療の補助技術 Technique to Support Medical Treatment	〃	〃	30	(1)		30					健康を促進するために必要な診療(検査・治療・処置)の補助行為にかかわる援助方法が理解できる。
		臨床看護技術Ⅰ Clinical Nursing SkillⅠ	〃	〃	30	(1)		30					対象の健康レベルに応じた援助の方法や症状の対する援助方法が理解できる。
		臨床看護技術Ⅱ Clinical Nursing SkillⅡ	〃	〃	30	(1)		30					看護実践の基本となる看護過程の知識をもとに、看護過程の展開技術が理解できる。
		基礎看護学実習Ⅰ Basic NursingⅠ	〃	実習	45	(1)	45						医療施設・看護の実践現場を見学し、医療施設の機能と、対象の療養生活が理解できる。
		基礎看護学実習Ⅱ Basic NursingⅡ	〃	〃	90	(2)		90					健康障害により日常生活に影響を受けている対象を理解し、対象に応じた日常生活援助を実践できる。

看護学科

系列	開講科目 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論 Introduction to Adult Nursing	必修	講義	30	(1)		30				成人期における発達課題、身体機能の特徴と生活行動を理解し、生活者としての活動や健康教育が理解できる。
		成人援助論Ⅰ Adult Nursing Care I	"	"	30	(1)			30		慢性期・リハビリ期にある対象を理解し、「その人らしく生きていく」ための看護が理解できる。	
		成人援助論Ⅱ Adult Nursing Care II	"	"	30	(1)			30		周術期・急性期にある対象を理解し、救命と機能回復のための看護が理解できる。	
		成人援助論Ⅲ Adult Nursing Care III	"	"	30	(1)			30		緩和ケアの考え方を理解し、苦痛緩和と意思決定への援助が理解できる。	
		成人援助論Ⅳ Adult Nursing Care IV	"	"	30	(1)			30		セルフマネジメントの基本的な考え方を理解し、機能障害を持ちながら生活する対象への看護が理解できる。	
		成人看護技術 Adult Nursing Skill	"	"	30	(1)			30		成人看護に必要な日常生活援助技術や基礎的な診療補助技術ができる。	
	老年看護学	老年看護学概論 Introduction to Gerontological Nursing	"	"	30	(1)		30				ライフサイクルの中の老年期の特徴と身体的変化、その人の人生や環境などを理解し、高齢者の健康と生活を支える看護の役割が理解できる。
		老年援助論Ⅰ Gerontological Nursing Care I	"	"	30	(1)			30			高齢者を生活者としてとらえ、日常生活機能低下の予防とその人らしい生活ができるよう看護が理解できる。
		老年援助論Ⅱ Gerontological Nursing Care II	"	"	30	(1)			30			健康障害を持つ高齢者の健康上の問題を理解し、看護実践するための知識・技術・態度がわかる。
		老年援助論Ⅲ Gerontological Nursing Care III	"	"	15	(1)			15			健康障害を持つ高齢者に生じやすい健康問題を理解し、問題解決に必要な援助方法が理解できる。
	小児看護学	小児看護学概論 Introduction to Pediatric Nursing	"	"	30	(1)			30			小児期にある対象と家族の特徴や、小児期に多い健康問題、看護の役割が理解できる。
		小児援助論Ⅰ Pediatric Nursing Care I	"	"	15	(1)			15			小児の健康障害や入院が子どもや家族に及ぼす影響を理解し、健康段階・障害など様々な状況にある対象の看護が理解できる。
		小児援助論Ⅱ Pediatric Nursing Care II	"	"	30	(1)			30			小児各期の健康状態の査定の方法と検査治療における看護が理解できる。
		小児援助論Ⅲ Pediatric Nursing Care III	"	"	30	(1)			30			小児期における機能障害のある対象の看護過程の展開ができる。

看護学科

系列	開講科目 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野II	母性看護学	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing	必修	講義	30	(1)			30			女性の健康問題を身体的、心理・社会的な視点から理解し、女性と家族の健康支援に関する看護の役割が理解できる。
		母性援助論 I Maternity Nursing Care I	"	"	30	(1)			30			周産期の母子と家族の心理・社会的変化を理解し、妊娠期・分娩期の看護が理解できる。
		母性援助論 II Maternity Nursing Care II	"	"	30	(1)			30			産褥期と新生児期の特徴を理解し、健康の維持・促進、新しい役割獲得にむけた看護が理解できる。
		母性援助論 III Maternity Nursing Care III	"	"	15	(1)			15			妊娠・分娩・産褥期および新生児期の異常と看護が理解できる。
	精神看護学	精神看護学概論 Introduction to Psychiatric Nursing	"	"	30	(1)			30			人権擁護の重要性や精神看護の基盤となる知識を学び、精神障害の基本的考え方とこころの健康について理解できる。
		精神援助論 I Psychiatric Nursing Care I	"	"	15	(1)			15			精神障害の診断と看護、ケアの原則、対人関係、治療の関係が理解できる。
		精神援助論 II Psychiatric Nursing Care II	"	"	30	(1)			30			精神障害を持つ対象の安全な環境、緊急事態の対処、ケアについて理解できる。
		精神援助論 III Psychiatric Nursing Care III	"	"	30	(1)			30			セルフケア理論を活用し、対象の自立・回復を促すための支援方法や地域における精神看護、災害における保健福祉活動が理解できる。
	臨地実習	成人看護学実習 I Nursing Care for Adult I	"	実習	90	(2)					90	慢性疾患や機能障害を持つ対象とその家族の健康問題を理解し、問題解決に向けた看護の方法が理解できる。
		成人看護学実習 II Nursing Care for Adult II	"	"	90	(2)					90	急激な健康破綻をきたした対象とその家族の健康問題を理解し、心身の安定と回復過程をたどるための看護が理解できる。
		成人看護学実習 III Nursing Care for Adult III	"	"	90	(2)					90	疾病からの回復が困難、もしくは人生最期の時にある患者・家族の苦痛や状況を理解し、QOLの向上を目指した看護が理解できる。
		老年看護学実習 I Nursing Care for Elderly I	"	"	90	(2)			90			老年期にある人の特徴を理解し、高齢者が生活している場と保健・医療・福祉その他関連機関との連携や役割が理解できる。
		老年看護学実習 II Nursing Care for Elderly II	"	"	90	(2)			90			高齢者の健康を維持・回復・増進し、その人らしくよりよく生き・生活できるよう個別的看護を展開するための看護が理解できる。
		小児看護学実習 Nursing Care for Children	"	"	90	(2)					90	小児の特徴を理解し、成長発達段階にある小児とその家族に対する看護が理解できる。
		母性看護学実習 Maternity Care	"	"	90	(2)					90	妊婦・産婦・褥婦と新生児が生理的変化に適応していくプロセスを理解し、健康の保持・増進していくための看護が理解できる。
		精神看護学実習 Psychiatric Nursing	"	"	90	(2)					90	精神に障害を持つ対象とその家族の問題を理解し、精神保健福祉の機能とその人自身が生活を再獲得していく力を支援する看護が理解できる。

看護学科

系列	開講科目 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
統合分野	在宅看護論	在宅看護概論 Introduction to Home Care Nursing	必修	講義	15	(1)			15			在宅で療養する対象の特徴を理解し、在宅看護の理念、目標、看護の役割が理解できる。
		在宅援助論Ⅰ Home Care NursingⅠ	"	"	30	(1)			30			療養者と家族にとって安全・安楽や経済性・継続性を考慮した在宅での看護技術ができる。
		在宅援助論Ⅱ Home Care NursingⅡ	"	"	30	(1)			30			在宅看護に必要な在宅養者・家族及び介護者についてのアセスメント・実践・評価について理解できる。
		在宅援助論Ⅲ Home Care NursingⅢ	"	"	30	(1)			30			在宅看護活動と連携する保健医療福祉の活動・看護の役割について理解できる。
	看護の統合と実践	看護管理 Nursing Management	"	"	15	(1)					15	看護マネジメントの目的、資源活用や医療チームにかかわる人々の協働・調整について理解できる。
		医療安全 Nursing Risk Management	"	"	30	(1)				15	15	医療における「安全」を理解し、日常の看護・医療の場で発生しやすい事故と安全対策について理解できる。
		災害看護・国際看護 International Nursing Disaster Nursing	"	"	30	(1)			30			災害の特徴を理解し、看護の役割を学ぶ。又、世界の健康問題とそれに対する看護の現状と課題を知り、異文化の中での看護について理解できる。
		総合看護技術 Comprehensive Clinical Practices	"	"	30	(1)				15	15	総括的、自立的な看護実践を目指した知識の習得と医療現場において遭遇しやすい場面での専門的な看護について理解できる。
	臨地実習	在宅看護論実習 Clinical Practice in Home Care Nursing	"	実習	90	(2)					90	地域で療養する人とその家族を理解し、在宅における生活を維持するための看護が理解できる。
		統合実習 Comprehensive Clinical Practices	"	"	90	(2)					90	医療チームに関わる人々との協働について理解し、修得した看護の知識・技術を応用した看護実践活動を展開し、看護を統合でき自己の看護観が述べられる。
総時間数				3,075	(98)	525	615	540	555	510	330	